

### 3.5 施工パターン

施工パターンの標準図を図-3.5.1~3.5.2に示す。標準パターンは巻厚30cmと20cmをもち、内空断面の半径0.95mの3心円インバート付き断面である。なお、第4隧道を除いて、破碎帯や地質が不安定な断面では40cm巻厚を採用している。

勿来隧道は30cm巻厚、内空断面がやや大きく、半径1.05mである。異方性の強い亀ノ尾層中の破碎帯では40cm巻厚や、掘削時の不安定化を避けるために鉄棒を使用している。

なお、施工時の写真（勿来隧道）を写真-3.5.1~6に添付した。

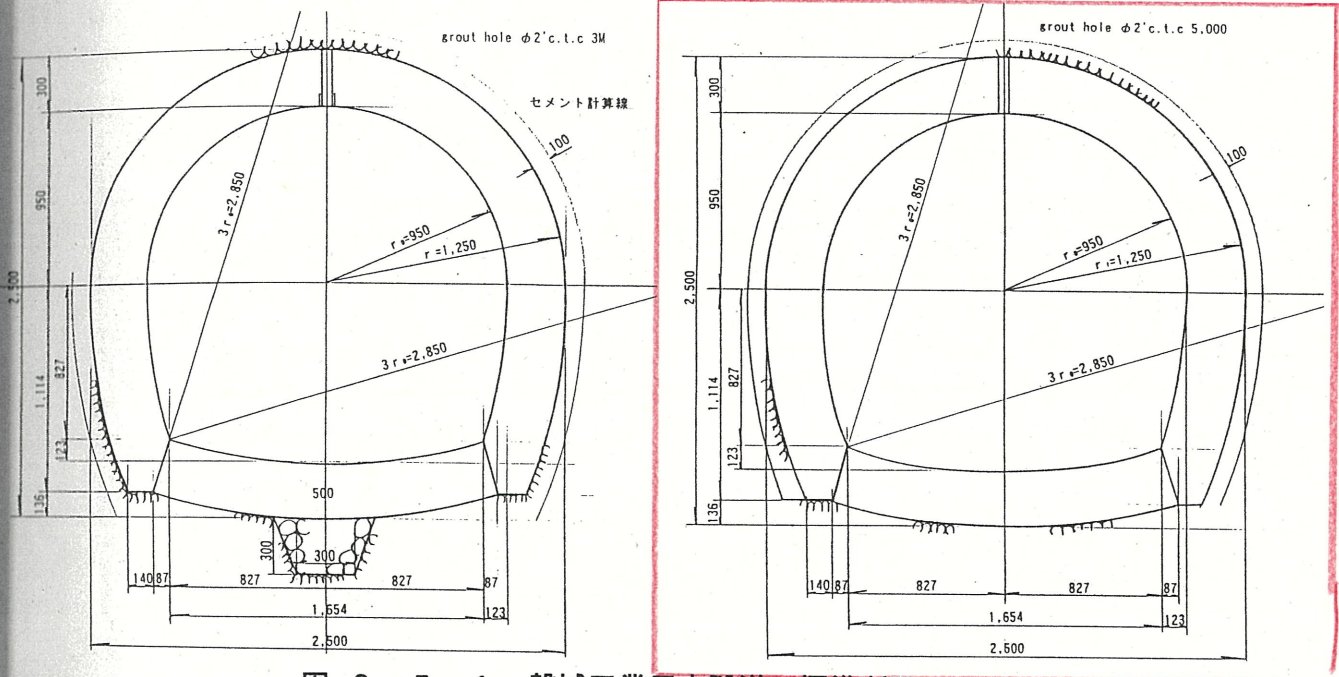


図-3.5.1 磐城工業用水隧道の標準断面

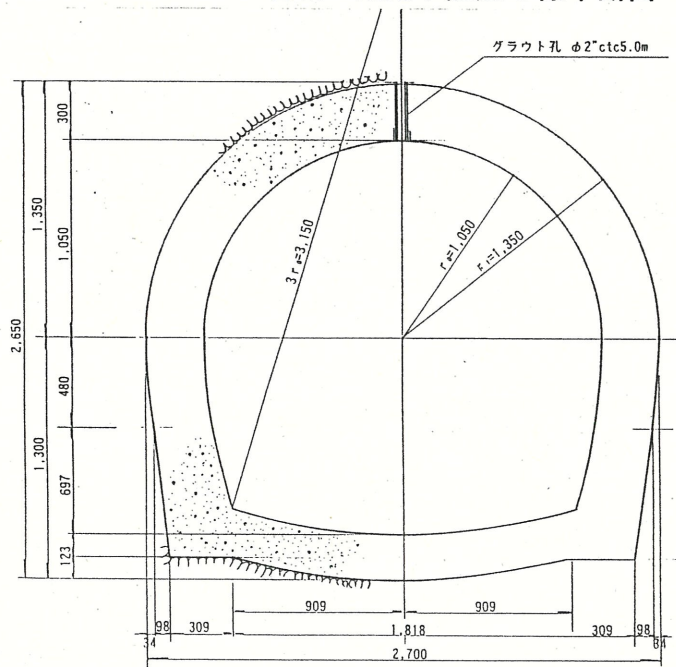


図-3.5.2 勿来工業用水隧道の標準断面

鮎川隧道  
第1隧道